

## 吉備中央町内のPFOS・PFOA事案に係る調査結果について

吉備中央町内のPFOS・PFOA事案に関し、円城財産区所有の土地に置かれていたフレコンの梱包物について、追加の分析結果が判明しましたので、お知らせします。

### 1 フレコンの梱包物に係る調査

#### (1) 概要

10月30日の立入調査で採取した12検体について、溶出試験で最大330\*ng/Lが検出されたところですが、11月9日に追加採取した18検体の分析を行ったところ、溶出試験で最大4,500,000ng/Lが検出されました。

なお、この置場にあったフレコンの梱包物は、11月16日までに全て撤去されており、現在は屋内で保管されています。

また、立入調査時にフレコンの数量を約300袋と見積もっていましたが、全量撤去後の屋内保管場所において再計数したところ、約580袋であることを確認しました。

\* 11月10日公表時の速報値(320)を確定値(330)に修正

#### (2) 分析結果 (網掛け部分は10/30採取分)

試料番号	結果 (ng/L)
1	0.4未満
2	0.5
3	0.4未満
4	23
5	0.4未満
6	0.6
7	0.4未満
8	0.4未満
9	0.4未満
10	330
11	2.3
12	0.5
13	0.4未満
14	260
15	120

※ 保管状況等から偏りがないうえ採取

試料番号	結果 (ng/L)
16	5.5
17	1.9
18	930
19	0.8
20	7.3
21	0.4
22	270
23	130
24	0.4未満
25	8.3
26	0.4
27	4,500,000
28	74
29	290
30	330

※ 結果はPFOS・PFOAの合計値

### 2 今後の対応

- ・ フレコンの撤去完了後、梱包物が置かれていた場所及び周辺の表層土壌の採取を行っており、順次、調査を進める。
- ・ 町対策本部へ調査結果を提供するとともに、専門家の意見も踏まえながら、引き続き、町とともに原因究明に取り組む。